

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	福岡県警察			代表者名	住友 一仁
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	警務課	連絡先電話番号	092-641-4141
担当者役職	係長	担当者氏名	片倉 崇雄	連絡先E-mail	
住所	812-8576 福岡県福岡市博多区東公園7-7				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	福岡県警におけるDXの推進		
概要	県警の企画・デジタル化推進担当職員に対して、組織内でのDX推進意識向上を図るとともに、その実現性を高める手法についての研修を行っていただきたい。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月14日	講演(実地)	13時00分	17時10分	10
				活動時間(分)	240
2-2. 派遣場所	会場名	福岡県警察本部		最寄駅	馬出九大病院前駅
	所在地	福岡市博多区東公園7-7		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	抽象的な概念では知っているものを講師の実体験を踏まえた講義・ワークショップをとおして、具体的、学ぶことができ非常に有意義であった。
アドバイザーへの要望事項	

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	40人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	40			

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	DXの推進については、組織的な合意形成が必要であるものの、現時点、幹部職員において必要性の認識に温度差がある状況である。そうした状況の中、いかに組織的合意を得て、迅速にDXを推進することに課題がある。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	属人的になりがちな企画から導入するまでに必要となるスキルを、DXの推進を担当する幅広い職員に身に付けてもらうことで、警察組織におけるDX推進力の底上げを行う。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーの経験を元に培った企画を進める上で必要となる「期待値」、「企画書」、「行動」、「想い」の項目に沿って、こういった視点で進めなければならないかについてワークショップや講義をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXの必要性を再認識するとともに、感覚的に仕事をするのではなく、表を活用して業務を可視化することや定量的な資料を用いること、他人と仕事をする際には認識に齟齬が生じるという前提に立った上で、適切なコミュニケーションを図ることの重要性を認識することができた。さらに、明確な目標を持ち、PDCAサイクルを活用することで難しい課題も打開できると学ぶことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 これまで本分野に関する研修が少なく経験則に基づいて行われてきたが、ワークショップ形式での講義で経験則やゲームを交え、わかりやすい講座を行っていただいたおかげで、DX意識の向上と今後の企画立案において役立つ手法の習得の成果を得た。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート(満足、やや満足、普通、やや不満、不満の5段階評価)の結果、参加した40人全て職員が「満足(38名)、やや満足(2名)」と回答しており、非常に有意義な講義となった。アンケート結果から、今後は、より幅広い職員を対象とした研修を行いDXの推進力強化を図る必要があると感じた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 本講座を活かした企画立案の実践しDXの推進を図る。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXを推進することで、少子高齢化による生産年齢人口減少等の社会情勢の変化に適切に対応し、間隙を生じることなく県民が安全・安心を実現できる福岡県の実現を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 [https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

